

(18590703)

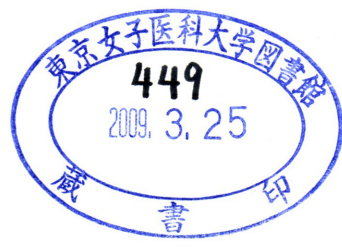
胃粘膜分化増殖と糖脂質代謝における 胃酸の生理的役割の解明

(18590703)

平成18年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究C)

研究成果報告書

平成20年4月



研究代表者 **齊藤 寿仁**

(東京女子医科大学 医学部 准教授)



東京女子医科大学
医学部
准教授

は し が き

胃内の酸度を調節するヒスタミンH₂受容体とガストリン受容体の両者が欠損したマウスは、欠損のない野生型マウスと比べ、栄養状態が良好に保たれることが判明した。胃内酸度が低く維持され、胃内pHが上昇した状態が続くことにより栄養・吸収を促進したり、糖や脂質の血中濃度を上昇させることが示唆された。

研究組織

研究代表者 : 斉藤 寿仁 (東京女子医科大学医学部 准教授)
研究分担者 : 大塚 洋子 (東京女子医科大学医学部 助教)
研究分担者 : 高橋 春樹 (東京女子医科大学医学部 助教)

交付決定額 (配分額)

(金額単位: 千円)

	直接経費	間接経費	合計
平成18年度	1700	0	1700
平成19年度	1600	0	1600
総計	3300	0	3300

研究発表

(1) 雑誌論文「発表予定」

1) Toshihito Saitoh Yasushi Fukushima Hiroko Otsuka Haruki Mori
Takashi Ishikawa Masao Omata Takao Katsube Kenji Ogawa
Evaluating the effects of the treatment with rabeprazole and histamine H₂ receptor
Antagonists for the patients with low-grade reflux esophagitis in conjunction with
the Influences of *Helicobacter pylori* status

2) Yasushi Fukushima Takashi Ishikawa Keisuke Tateishi Midori Fujishiro
Akifumi Kushiya Motonobu Anai Hiraku Ono Hideyuki Sakoda
Toshihito Saitoh
Histamine H₂ receptor-null mice lack reciprocal growth regulation of parietal and
chief cells in response to liquid and solid diets

3) Yasushi Fukushima Keisuke Tateishi Takashi Ishikawa
Toshihito Saitoh et al.
Intestinal metaplasia of gastric mucosa following fusion with intestine doesn't
involve

(2) 学会発表

齊藤 寿仁

軽症逆流性食道炎に対する胃酸分泌抑制剤の治療効果と *H.pylori* 感染の影響

第92回 日本消化器病学会総会 平成18年4月21日 福岡県小倉市